

令和元年12月第2回亙理町議会定例会会議録（第1号）

○ 令和元年12月6日第2回亙理町議会定例会は、亙理町役場仮設庁舎大会議室に招集された。

○ 応招議員（18名）

1 番	小野 一雄	2 番	鈴木 邦彦
3 番	高野 進	4 番	結城 喜和
5 番	安藤 美重子	6 番	大槻 和弘
7 番	鈴木 秀一	8 番	小野 明子
9 番	佐藤 邦彦	10 番	木村 満
11 番	森 義洋	12 番	渡邊 健一
13 番	澤井 俊一	14 番	佐藤 正司
15 番	鈴木 高行	16 番	熊田 芳子
17 番	鈴木 邦昭	18 番	佐藤 實

○ 不応招議員（0名）

○ 出席議員（18名） 応招議員に同じ

○ 欠席議員（0名） 不応招議員に同じ

○ 説明のため出席した者の職氏名

町 長	山 田 周 伸	副 町 長	三 戸 部 貞 雄
総 務 課 長	佐々木 人 見	企 画 財 政 課 長	大 堀 俊 之
税 務 課 長	佐々木 厚	町 民 生 活 課 長	関 本 博 之
福 祉 課 長	佐 藤 育 弘	子 ども 未 来 課 長	橋 元 栄 樹
健 康 推 進 課 長	齋 藤 彰	農 林 水 産 課 長	菊 池 広 幸
商 工 観 光 課 長	齋 義 弘	都 市 建 設 課 長	袴 田 英 美
施 設 管 理 課 長	齋 藤 輝 彦	上 下 水 道 課 長	川 村 裕 幸
会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	菊 地 邦 博	教 育 長	奥 野 光 正
教 育 次 長 兼 学 務 課 長	南 條 守 一	生 涯 学 習 課 長	片 岡 正 春
農 業 委 員 会 事 務 局 長	山 田 勝 徳	選 挙 管 理 委 員 会 書 記 長	佐々木 人 見
代 表 監 査 委 員	渋 谷 憲 之		

○ 事務局より出席した者の職氏名

事 務 局 長	西 山 茂 男	庶 務 班 長	伊 藤 和 枝
主 事	片 岡 工		

議事日程第1号

〔議事日程表末尾掲載〕

本日の会議に付した案件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

議長諸報告

日程第 3 提出議案の説明

午前10時00分 開会

議長（佐藤 實君） おはようございます。

これより令和元年12月第2回互理町議会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（佐藤 實君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第124条の規定により、3番 高野 進議員、4番 結城喜和議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

議長（佐藤 實君） 日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、別紙会期日程案のとおり、本日から12月13日までの8日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（佐藤 實君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日から12月13日までの8日間に決定いたしました。

議長諸報告

議長（佐藤 實君） 次に、諸般の報告をいたします。

第1、地方自治法第121条の規定に基づきます説明員は、別紙お手元に配付のとおりであります。

第2、町長提出議案についてであります。町長から、条例案5件、補正予算案6件、工事請負変更契約2件外6件、合計19件の議案が提出されております。

第3、一般質問についてであります。一般質問の通告を7名から受理しております。

第4、請願・陳情等についてであります。陳情1件を受理しております。写しをお手元に配付しておりますのでご了承願います。

第5、議員派遣の件について、会議規則第126条第1項ただし書きの規定により、お手元に配付のとおり、議長において決定しましたので報告いたします。

また、今期定例会前に派遣を決定しておりました議員から、お手元に配付のとおり議員派遣結果報告書1件が提出されておりますので報告いたします。

第6、監査委員から例月出納検査報告書及び定期監査報告書が提出されております。写しをお手元に配付しておりますのでご了承願います。

第7、閉会中の「議会及び議長の動向」について、別紙お手元に配付のとおり報告いたします。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第3 提出議案の説明

議長（佐藤 實君） 日程第3、提出議案の説明を求めます。

町長登壇。

〔町長 山田周伸君 登壇〕

町長（山田周伸君） 皆さん、おはようございます。

令和元年第2回互理町議会定例会議案の説明をさせていただきます。

本日、第2回亶理町議会定例会を開会するに当たり、議員各位には何かとご多用のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今回ご提案申し上げご審議賜りますのは、議案17件及び報告2件であります。よろしくご審議方お願い申し上げます。

それでは、各案件について、その概要をご説明申し上げます。

議案第94号「亶理町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」につきましては、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律（平成29年法律第29号）が令和2年4月1日から施行されることに伴い、会計年度任用職員制度が創設されることから、これらの給与等に関して必要な事項を定めるため、新たな条例を制定するものであります。

議案第95号「亶理町印鑑条例の一部を改正する条例」につきましては、町民の利便性の向上と窓口業務の合理化を目的とし、令和2年3月10日より個人情報カードを利用した各種証明書のコンビニ交付を開始する予定としておりますが、印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスを開始するに当たり、必要となる事項を定めるため、条例の一部を改正するものであります。

議案第96号「亶理町手数料条例の一部を改正する条例」につきましては、各証明書等の発行手数料に関し、受益者負担の適正化を図るため、一部証明書等の手数料額を引き上げるとともに、令和2年3月から各種証明書のコンビニ交付サービスを開始するに当たり、手数料額を新たに設定するため、条例の一部を改正するものであります。

議案第97号「災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律（令和元年法律第27号）が令和元年8月1日から施行されたことに伴い、災害援護資金に係る償還金の支払い猶予、償還免除の対象範囲の拡大、市町村における合議制の機関の設置など、被災者に対する支援の充実を図るため、条例の一部を改正するものであります。

議案第98号「下水道事業への地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例」につきましては、総務省から要請されております人口3万人以上の下水道事業体への地方公営企業法（昭和27年法律第292号）及び地方公営企業法施行令

(昭和27年政令第403号)の適用に関し、令和2年4月1日から本町の公共下水道事業に同法の全部を適用したいため、現行の亘理町水道事業の設置等に関する条例のほか、関係条例の一部を改正するものであります。

議案第99号「工事請負変更契約の締結について（平成30年度町道築港通1号線外道路改良工事）」につきましては、工事の設計内容の変更に伴う請負金額の増額など変更契約の必要が生じたので、地方自治法第96条第1項第5号の規定に基づき議会の議決を求めるものであります。

議案第100号「工事請負変更契約の締結について（平成30年度（復交）鳥の海公園多目的広場整備工事）」につきましては、工事内容の一部変更に伴う請負金額の減額など変更契約の必要が生じたので、地方自治法第96条第1項第5号の規定に基づき議会の議決を求めるものであります。

議案第101号から議案第103号「字の区域を新たに画することについて」につきましては、平成25年度から施工してまいりました農山漁村地域復興基盤総合整備事業「吉田西部地区」「吉田南部地区」「吉田中部地区」の3地区が平成29年度において工事が完成し、令和2年度で換地処分を行い事業完了する運びとなっております。その換地処分を行うことに伴い、圃場整備施工区域内の字名を変更する必要が生じたため、吉田西部・南部地区と吉田中部地区にそれぞれ字界変更検討委員会を設置し検討してまいりましたが、その結果がまとまりましたので、地方自治法第206条第1項の規定により議会の議決を求めるものであります。

議案第104号「公の施設における指定管理者の指定について」であります。亘理町逢隈児童館につきましては、平成29年4月1日から令和2年3月31日まで社会福祉法人宮城県福祉事業協会に指定管理者の指定を行っていましたが、実績を踏まえ、引き続き令和2年4月1日から令和5年3月31日まで、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づく指定管理者の指定を行うため、同条第6項の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、予算関係議案について説明申し上げます。

議案第105号「令和元年度亘理町一般会計補正予算（第5号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億4,828万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ193億2,029万7,000円とするものであります。

初めに、歳出予算についてご説明申し上げます。

2款総務費につきましては、初めに企画事務経費において、令和3年度から令和7年度までを計画期間とした総合発展計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略が一体となった第5次亘理町総合発展計画後期計画を策定するための委託料400万円を追加補正するとともに、次年度までの2カ年で事業を実施する計画であることから、令和2年度分の債務負担行為を設定するものであります。

次に、ふるさと納税推進事業費におきましては、返礼品の充実や申し込み窓口の拡充等により順調に寄附金額が増加し、当初想定していた以上の実績となる見込みであることから、ふるさと納税支援サービス業務委託料として1億200万円を追加補正するほか、東日本大震災復興交付金基金費におきましては、避難道路整備事業を初めとする平成30年度分の繰越事業費の確定に伴う精算分を復興交付金基金へ戻し入れするため、積立金として4,746万8,000円を追加補正するものであります。

以上が総務費の主なものであります。

3款民生費につきましては、後期高齢者医療事務経費において、平成30年度分の精算に伴う後期高齢者医療広域連合医療給付費負担金481万5,000円を追加補正するもののほか、亘理町後期高齢者医療特別会計への保険基盤安定繰出金等として241万9,000円を追加補正するものであります。

次に、障害者福祉費におきましては、障害福祉サービス利用者の増加などから扶助費1,201万1,000円を追加補正するもののほか、償還金として平成30年度分の障害者自立支援給付費負担金等の確定に伴う国・県への返還金229万2,000円と、不正に訓練等給付費を受給していたため宮城県より指定取消処分を受けた事業者分に係る障害福祉サービス費の一部を国・県に返還する費用110万5,000円を追加補正するものであります。

続いて、障害児福祉事業経費におきましては、新規利用者の増加などにより扶助費1,591万2,000円を追加補正するほか、災害救助経費におきましては、災害援護資金貸付金の償還金として2,638万3,000円を追加補正するものであります。

以上が民生費の主なものであります。

4款衛生費につきましては、母子保健対策経費において、令和2年1月より新た

に導入する健康管理システムについて、マイナンバー制度を活用し乳幼児健診受診等の情報を市町村間で連携する仕組みを構築するための改修業務委託料99万円を追加補正するとともに、令和2年4月の子育て世代包括支援センター開設に合わせ、子育て期における切れ目のない支援策の一つとして、本町の子育て支援情報等を集約した子育て支援アプリの導入業務委託料13万2,000円を追加補正するものが主なものであります。

6款農林水産業費につきましては、農業振興事務経費において、10月の台風19号の影響により大量の稲わらが流出した圃場があることから、処分のための搬出作業、もしくは稲わらを有効活用した土づくり作業に係る委託料として8,000万円を追加補正するものが主なものであります。

7款商工費につきましては、観光施設管理経費において、令和2年の再開を目指している荒浜海水浴場及びわたり温泉鳥の海東側の町有地の利用を促進するため、給排水設備を整備する工事費として1,720万円を追加補正するものが主なものであります。

8款土木費につきましては、車両管理経費において、山ずり積み込みや除雪などで使用するホイールローダーについて、老朽化したタイヤの購入費やふぐあい箇所修理費等を合わせて210万円を追加補正するものであります。

次に、河川整備事業費におきましては、大雨の際に雪穴沢水路のスクリーンに土砂等が詰まり水路があふれる事象が発生していることから、既設スクリーンの改修工事費として500万円を追加補正するほか、公共下水道費におきましては、亘理町公共下水道事業特別会計への繰出金548万円を追加補正するものであります。

以上が土木費の主なものであります。

9款消防費につきましては、防災対策経費において、木造住宅耐震改修工事助成事業補助金に不足が生じる見込みであることから110万円を追加補正するものが主なものであります。

10款教育費につきましては、町内の各小中学校施設において、それぞれ早急な補修工事等が必要となったことから、小学校施設整備事業費において、工事費として818万1,000円を追加補正するとともに、中学校費施設整備事業費におきましても工事費637万3,000円を追加補正するものであります。

次に、文化財保護事業費におきましては、町指定文化財である大雄寺亙理領主伊達家歴代墓所周辺の枯れ木が倒木するおそれがあることから、伐採業務委託料として152万9,000円を追加補正するものであり、以上が教育費の主なものであります。

11款災害復旧費につきましては、10月の台風19号の影響により雪穴沢水路上流などに土砂が堆積したことから浚渫業務委託料として300万円を追加補正するとともに、同じく台風19号の影響によってのり面が崩壊した町道上郡小山線の法面復旧工事210万円を追加補正するものであります。

次に、歳入予算の主なものについてご説明申し上げます。

14款国庫支出金につきましては、歳出における児童福祉費や社会福祉費等の増額に係る国庫負担金・補助金の追加補正を初め、社会資本整備総合交付金の交付額決定に伴う国庫補助金の減額補正、圃場の稲わら処理事業に係る持続的生産強化対策事業補助金の追加補正などを合わせ、総額8,973万3,000円を追加補正するものであります。

15款県支出金につきましても、国庫支出金と同様に歳出における児童福祉費や社会福祉費の県負担分として、それぞれの負担金・補助金を追加補正するもののほか、子育て支援アプリ導入事業に係る少子化対策支援市町村交付金や母子保健情報システム改修事業等に係る母子保健衛生費補助金の追加補正などを合わせ、総額1,002万円を追加補正するものがその主なものでございます。

17款寄附金につきましては、現在の寄附状況より増額が見込めることから、ふるさと納税寄附金1億200万円を追加補正するものであります。

18款繰入金につきましては、役場新庁舎案内標識板整備費や荒浜海水浴場等における給排水設備整備費の財源として震災復興基金から1,830万円を繰り入れするもののほか、今回の補正の調整財源として3,538万4,000円を財政調整基金から繰り入れするものであります。

20款諸収入につきましては、災害援護資金貸付金収入として2,636万5,000円を追加補正するほか、福祉雑入として、障害福祉サービス費不正受給に係る事業所からの返還金2,317万8,000円を追加補正するものであります。

21款町債につきましては、社会資本整備総合交付金事業費の減額に伴い町道新設

改良事業債210万円を減額補正するほか、台風19号の被害における各施設の復旧事業に係る財源として、災害復旧事業債を合わせて4,500万円を追加補正するものがあります。

第2表債務負担行為の追加につきましては、歳出でも説明いたしました第5次互理町総合発展計画後期計画及び互理町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定業務委託につきまして、令和2年度における限度額を設定するほか、町道橋本堀添線道路改良工事及び互理町防災備蓄倉庫建設工事等の復興事業について、令和2年度までの2カ年で事業を実施する必要があることから、令和元年度から令和2年度までの限度額をそれぞれ設定するものであります。

最後に、第3表地方債の追加であります。農業施設、林業施設及び公共土木施設における災害復旧事業債の借入限度額についてそれぞれ追加設定するとともに、地方債の変更につきましては、道路整備事業債の借入限度額を2億3,820万円から2億3,610万円に変更するものであります。

議案第106号「令和元年度互理町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ212万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ37億8,397万4,000円とするものであります。

歳出につきましては、1款総務費において、令和2年1月からの住民情報システム変更に伴い国民健康保険被保険者証や納税通知書等の様式が変更となるため、一般管理費及び賦課徴収費における印刷製本費にそれぞれ57万5,000円、33万3,000円を追加補正するほか、医療機関で医療を受ける際の被保険者資格の確認をオンラインで行えるようにするためのシステム改修費として、一般管理費における委託料121万円を追加補正するものが主なものであります。

歳入につきましては、3款国庫支出金において、医療保険資格のオンライン確認等に係るシステム改修費の財源として121万円を追加補正するほか、6款その他一般会計繰入金において、事業費繰入金91万9,000円を追加補正するものであります。

議案第107号「令和元年度互理町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,028万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億4,885万9,000円とするものであります。

歳出につきましては、初めに1款総務費において、消費税等の納付額が決定したことに伴う不足分として一般管理費における公課費192万8,000円を追加補正するもののほか、維持管理費において、災害時等の停電対策として発動発電機の修理費100万円を追加補正するものであります。

次に、2款下水道事業費につきましては、交付額が確定したことから、社会資本整備交付金事業費における各種工事費に合わせて600万円を追加補正するほか、単独事業費において、町道五十刈線の道路改良に伴う污水管移設工事費等として500万円を追加補正するものであります。

また、4款公債費につきましては、平成30年度債借り入れに伴う影響額として、地方債利子396万8,000円を減額補正するものであります。

歳入につきましては、歳出における単独事業費の財源として、7款公共下水道事業債480万円を追加補正するとともに、4款一般会計繰入金548万円を追加補正するものであります。

最後に、地方債の変更になりますが、公共下水道事業債について、歳出における単独事業費の増額に伴い借入限度額を3億6,560万円から3億7,040万円に変更するものであります。

議案第108号「令和元年度亘理町介護保険特別会計補正予算（第4号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ87万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ30億705万9,000円とするものであります。

歳出につきましては、1款賦課徴収費において、令和2年1月からの住民情報システム変更に伴い納付書等の各種通知書の様式が変更となることから、印刷製本費37万3,000円を追加補正するものであります。

次に、2款保険給付費につきましては、今年度の給付実績に基づき高額医療合算介護サービス費65万2,000円を追加補正するものであります。

また、歳入歳出差し引きにより歳入不足が生じるため、5款基金積立金において、介護給付費準備基金積立金30万2,000円を減額補正するものが主なものであります。

歳入につきましては、歳出2款保険給付費における追加補正に対する国・県支出金、支払基金交付金、介護給付費繰入金などのルール分としての追加補正を行うものであります。

また、介護報酬改定等に伴うシステム改修費に対する国庫補助金28万5,000円を追加補正するほか、8款事務費繰入金8万8,000円を追加補正するものであります。

議案第109号「令和元年度わたり温泉鳥の海特別会計補正予算（第1号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ186万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ937万4,000円とするものであります。

歳出につきましては、1款わたり温泉鳥の海管理費において、5階機械室空調フィルターユニット交換及び空調用チラー部品取りかえ修繕料として、合わせて71万2,000円を追加補正するほか、3階客室の木製デッキ修繕に係る負担金として115万5,000円を追加補正するものであります。

歳入につきましては、額の確定に伴い、5款繰越金5万円を減額補正するほか、6款諸収入において消費税還付金39万8,000円を追加補正するものであります。

また、歳入歳出差し引きの不足分として、4款わたり温泉鳥の海運営基金繰入金151万9,000円を追加補正するものであります。

議案第110号「令和元年度亘理町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ241万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億5,399万8,000円とするものであります。

歳出につきましては、1款徴収費において、令和2年1月から住民情報システム変更に伴い納付書の様式が変更となることから印刷製本費23万9,000円を追加補正するほか、2款後期高齢者医療広域連合納付金において保険基盤安定負担金の額が確定したことから218万円を追加補正するものであります。

歳入につきましては、歳出予算の追加補正に伴う財源として、3款事務費繰入金及び保険基盤安定繰入金についてそれぞれ23万9,000円、218万円を追加補正するものであります。

次に、報告案件についてご説明を申し上げます。

報告第26号「専決処分の報告について（工事請負変更契約）」につきましては、平成30年度亘理町立逢隈小学校空調設備改修工事（繰越）において、工事内容の一部変更に伴う工事費の減額など変更契約の必要が生じたので、専決事項の指定第1項の規定により令和元年11月12日に専決処分したものであります。

報告第27号「専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）」につきまして
は、令和元年7月10日、鹿島保育所において二杉園に通園する児童が保育中に発
生した事故に係る関係者との和解について、専決事項の指定第2項の規定により
令和元年11月18日に専決処分したものであり、報告第26号及び報告第27号の2件
の案件については、地方自治法第180条第2項の規定に基づき議会へ報告するもの
であります。

以上、提出議案等についての概要説明を終わりますが、何とぞ慎重ご審議賜りま
して、原案どおり可決くださいますようお願い申し上げます。

以上でございます。

議長（佐藤 實君） 提出議案の説明が終わりました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

ご苦労さまでした。

午前10時35分 散会

上記会議の経過は、事務局長 西山 茂 男の記載したものであるが、その内
容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

亘理町議会議長 佐藤 實

署名議員 高野 進

署名議員 結城 喜和